



2026年5月13日

各位

会社名 ステラファーマ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上原幸樹
 (コード: 4888 グロース市場)
 問合せ先 管理本部長 伊神 尚
 (TEL 06-4707-1516)

**営業外費用の計上並びに
業績予想と実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）において営業外費用を計上するとともに、2025年10月14日に公表いたしました同事業年度の通期業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 営業外費用の内容

2026年3月31日付で公表いたしました「株式及び新株予約権発行プログラム設定契約締結に係る発行登録並びに第三者割当による新株式及び新株予約権の発行に関するお知らせ」に関連し、当事業年度において以下の費用を営業外費用として計上いたしました。

- ・ 当該プログラムに関するアドバイザーへの支払手数料：37,455千円

2. 業績予想の修正について

① 2025年10月14日公表の業績予想と実績値（2026年3月期）との差異

2025年3月期の業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回(10/14)発表 予想 (A) | 377 | △922 | △908 | △911 | △26.80 |
| 今回修正予想 (B) | 323 | △748 | △778 | △780 | △22.95 |
| 増減額 (B-A) | △53 | 173 | 130 | 130 | 3.85 |
| 増減率 (%) | △14.2 | - | - | - | - |
| (参考) 前期実績 (2026年3月期) | 961 | △90 | △137 | △140 | △4.22 |

② 修正の理由

売上高につきましては、医療現場における使用実態は引き続き堅調であり、医療施設で実施された症例に基づく消費換算量は、前年同期比108%と安定的な増加を示しております。

他方、当社は即納を基本とする供給体制を採用しているため、当期においては流通段階における在庫水準の見直しが行われ、卸売業者における在庫削減が進みました。

これに伴い、実需の伸長に比して売上計上が一時的に鈍化し、当期の売上高は前回業績予想(10/14)を53百万円下回る結果となりました。

利益におきましては、前回業績予想数値を上回る結果となりました。

費用面につきましては、2025年10月2日付で公表したとおり、主要な製造委託先の準自己破産を受け、当社製品「ステボロニン®」の新たな製造委託先として選定した国内事業会社との間で、長期的な安定供給体制の構築を目的とした開発委受託契約を締結し、生産移管に向けた技術移管および製造所変更に必要な対応を進めております。これらの作業は概ね当初計画どおりに進捗しており、その結果として、追加的に発生する可能性があった検査費用等の関連費用は前回予想を下回る結果となりました。

研究開発費につきましては、国内の開発パイプライン拡充に向けた取り組みを継続する一方、主として欧州向けの海外展開に係る技術移管等については、上記「ステボロニン®」の安定供給体制構築への投資を優先し、その状況が判明するまで一部施策の実施を事実上停止するとともに、その実施時期を見直した結果、当期における関連費用は前回予想を下回る結果となりました。

上記営業外費用の計上および業績差異については、本日公表の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に反映しております。

今後も当社は、安定供給体制の確立と中長期的な企業価値向上を目指し、事業運営を進めてまいります。

以上